

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成 29 年 12 月 1 日)

- 1 山陰インバウンド機構の一般社団法人化及び「日本版DMO」第1弾への  
登録について【観光戦略課】・・・1 ページ
- 2 Pokémon GO Safari Zone in 鳥取砂丘の開催結果について【観光戦略課】・・・別冊
- 3 エアソウル米子ソウル便の冬季増便運行の決定及び利用促進策について  
【観光戦略課】・・・・・・・・・・2 ページ
- 4 県内発着の国際チャーター便の状況について【観光戦略課】・・・・・・・・・・3 ページ
- 5 台中市との観光交流協定締結結果について【交流推進課】・・・・・・・・・・5 ページ
- 6 「第6回日韓知事会議」への参加結果について  
【交流推進課】・・・・・・・・・・8 ページ
- 7 鳥取県・吉林省友好県省提携締結について【交流推進課】・・・・・・・・・・11 ページ
- 8 米国バーモント州及びジャマイカ・ウェストモアランド県との青少年交流について  
【交流推進課】・・・・・・・・・・14 ページ
- 9 国際交流センターの管理運営の見直しについて【交流推進課】・・・・・・・・・・16 ページ
- 10 「ふるさと鳥取で谷ロジローさんを偲ぶ会」の開催結果について  
【まんが王国官房】・・・・・・・・・・17 ページ
- 11 伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント等について  
【西部総合事務所地域振興局】・・・・・・・・・・18 ページ

## 観光交流局



# 山陰インバウンド機構の一般社団法人化及び「日本版DMO」第1弾への登録について

平成29年12月1日

観光戦略課

山陰インバウンド機構が10月2日(月)に法人化し「一般社団法人山陰インバウンド機構」(以下「機構」となり、この法人化を機に、新たに全日本空輸株式会社及び日本航空株式会社から同機構に各1名の職員が派遣され体制が強化されました。また、機構は、従来「日本版DMO候補法人」として登録されていましたが、このたび機構の活動状況などについて観光庁の審査を受け、11月29日(水)に「日本版DMO」第1弾として認定されましたので、以下のとおり報告します。

## 1 職員体制と今後の主な事業展開等

(1) 10月2日時点の職員体制 16名

(代表理事1名、県派遣職員4名、企業・団体派遣職員9名、非常勤職員2名)

(2) 航空会社からの派遣をうけ、山陰インバウンド機構では全日本空輸株式会社及び日本航空株式会社と共同で、首都圏に滞在する外国人観光客向けに萩・石見空港イン(アウト)→鳥取コナン空港アウト(イン)を使った旅行商品造成に重点的に取り組むなど、山陰へのインバウンド誘客に向けて取組を強化する予定

## 2 山陰インバウンド機構の法人化のメリット等について

(1) 収益事業に取り組むことが可能となる。ただし、現時点では機構が収益事業を行うのではなく、山陰の観光関連事業者に利益が上がる収益モデルの構築やビジネス支援などに取り組むこととしている。

(2) 法人として旅行業等の登録が可能となる。(具体的な取得予定はない)

(3) 社会的な信用度の向上が期待できる。

### 【参考】(一社)鳥取中部観光推進機構の事例

鳥取中部観光推進機構は、法人化後、以下の収益事業により事業収益を得ている。

①旅行業：中部市町村のFAM(視察旅行)や婚活事業等の手配業務

②山陰地域限定特例通訳案内士等を活用した翻訳及び通訳業務

③Wi-Fiルーターレンタル事業

このほか、職員の技能を活かしたドローン空撮代行、印刷物のデザイン制作、WEB制作、WEBアンケート等を実施している。

## 3 日本版DMO第1弾への登録について

観光庁が、本年8月4日までに登録された157の日本版DMO候補法人のうち、登録要件を満たす41法人を11月28日付けで日本版DMOの第1弾として改めて登録し、山陰では、(一社)山陰インバウンド機構及び(一社)鳥取中部観光推進機構が日本版DMOとなりました。今後、登録された法人及びこれと連携して事業を行う関係団体に対して、関係省庁が連携して支援する予定です。

### 日本版DMOとしての登録条件：以下の5条件をすべて兼ね備えていること

(1) 日本版DMOを中心に観光地域づくりを行うことについて、多様な関係者の合意形成が行われている。

(2) 各種データ等の継続的な収集・分析、データ等に基づく明確なコンセプトに基づいた戦略(ブランディング)の策定、KPIの設定・PDCAサイクルが確立している。

(3) 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組みがある。

(4) 日本版DMOが法人格を取得、意思決定の仕組みが構築されており、マーケティング等の専門人材が存在する。

(5) 安定的な運営資金の確保ができています。(行政からの補助金等を含む。)

# エアソウル米子ソウル便の冬季増便運航の決定及び利用促進策について

平成29年12月1日  
観光戦略課

平成13年4月の就航から16年を経て、米子・ソウルを結ぶ国際定期航空便が増便（週5便化）となりますので、以下のとおり報告します。

## 1 エアソウル米子ソウル便冬季増便運航の概要

○増便運航期間 平成29年12月23日（土）～平成30年3月24日（土）

○運航スケジュール（※木・土曜日の2便が増便）

曜日	便名	仁川 → 米子	便名	米子 → 仁川
火	RS742	12:30 → 14:00	RS741	15:00 → 16:40
木	RS744	8:30 → 10:00	RS743	11:00 → 12:40
金	RS742	9:30 → 11:00	RS741	12:00 → 13:40
土	RS744	8:30 → 10:00	RS743	11:00 → 12:40
日	RS742	12:30 → 14:00	RS741	15:00 → 16:40

増便

増便

○機種 A321-200（195席）

## 2 増便後の旅行商品の販売状況等

インバウンド、アウトバウンドとも既に増便分の航空券や旅行商品が販売されており、増便のメリットである旅行パターン（土日1泊2日弾丸ツアーなど）が増えたことにより、集客状況は好調に推移している。

- ・インバウンドについては、現在、エアソウルホームページ上で特価キャンペーン等を実施中
- ・増便後の予約は、米子路線のオンシーズンに当たる1～3月ということもあり、インバウンド集客は好調に推移すると見込まれる。（エアソウル本社担当者）
- ・アウトバウンドについては、ある旅行会社が増便記念として造成した弾丸ツアー商品（12/23～24の1泊2日でソウルのクリスマスイルミネーション等を楽しむツアー）が販売開始直後に20席完売し、追加で25席を販売中のほか、各旅行社が新商品を販売中

## 3 今後の主な利用促進対策

アウトバウンド対策	インバウンド対策
<p>&lt;ファンクラブ会員や若年層への情報発信等&gt;</p> <p>○米子ソウル便増便記念のお得なソウル行きツアー商品など、各種キャンペーンや広報を実施</p> <p>○年末年始休暇等の旅行商品や韓国観光情報をフェイスブックや「エアソウル山陰ファンクラブ」メールマガジンで山陰・山陽北部へ広く情報発信、各種利用助成制度のPR</p> <p>○県内及び山陽北部の大学を訪問し、冬休みシーズンでの学生（若年層）の利用を呼びかけ</p> <p>&lt;平昌冬季五輪ツアーや乗継便の利用促進&gt;</p> <p>○平昌冬季五輪観戦ツアーの造成支援等、平昌冬季五輪を契機とした江原道と連携したアウトバウンドの活性化</p> <p>○乗継便利用によるエアソウル就航都市（グアム、東南アジア、香港等）への旅行商品の販売促進</p> <p>&lt;関係団体の利用促進&gt;</p> <p>○国際定期便利用促進協議会の臨時総会を開催するなど、山陰地域の関係団体への利用促進を依頼</p> <p>○県内市町村を訪問し、韓国自治体と交流している市町村を中心に増便後の米子ソウル便の利用の働きかけを行う。</p>	<p>&lt;個人旅行者対策として情報発信強化&gt;</p> <p>○個人客集客のため、ウェブサイトやフェイスブック、インスタグラムなど、SNSサイトでの情報発信を中心とした韓国でのプロモーションを実施</p> <p>○韓国のパワーブロガーを招聘し、鳥取県の魅力を継続的に発信</p> <p>&lt;定番ブランド化した高価格帯商品の販売継続&gt;</p> <p>○団体客確保のため、旅行社と連携しホームショッピングでのエアソウル利用の鳥取旅行商品を放映し販売促進を図る。</p> <p>&lt;エアソウル就航都市と連携した商品展開&gt;</p> <p>○他のエアソウル就航都市（主に関西空港）と連携し、多様な周遊ルート提案による関西周辺の韓国観光客の当県への誘客を図る。</p> <p>&lt;関係団体と連携したプロモーション&gt;</p> <p>○地元自治体や経済団体等と連携したプロモーションや、山陰インバウンド機構などの関係機関と連携したインバウンド利用促進の取組を実施</p>

# 県内発着の国際チャーター便の状況について

平成29年12月1日  
観光戦略課

平成29年秋季に韓国（務安-鳥取）、ベトナム（ハノイ-米子）、台湾（台北-米子）と国際チャーター便が就航（韓国は12月末まで継続中）しましたので、その概要を報告します。

## 1 韓国・務安-鳥取 チャーター便

- 韓国務安からのチャーター便が9月末から週3便（火・木・土）で運航中。  
このチャーター便を利用してこれまで約360名の方が来県し秋の鳥取を堪能されている。
- 就航当初は満席で運航されたが、韓国の旧盆の大型連休明け以降から、販売不振等により一部運航が休止となった。大型連休以降の旅行需要の激減に加え、韓国旅行会社間での販売に関する調整不足が原因。
- 10月23日から販売体制を見直し。光州の大手旅行会社と連携したり、ネット通販に強い旅行会社での販売、鳥取県の情報発信強化などにより集客中。  
【特に人気があった場所】鳥取砂丘、砂の美術館、青山剛昌ふるさと館  
【特に喜ばれた食べ物】刺身等の海産物、梨  
【鳥取県の印象】  
砂の美術館みたいに砂像で作られたものは初めて見てとても感動した。温泉が素晴らしい。食べ物が美味しく、自然豊か。また来たい など

## 2 ベトナム・ハノイ-米子 チャーター便

- 11月8日（水）に、鳥取県初となるベトナムとの相互チャーター便が、ハノイ・ノイバイ国際空港-米子鬼太郎空港間で運航。（12日（日）に帰りの便が運航）
- ベトナムから137名/172席（搭乗率：79.7%）が来県され、本県からはほぼ満席の161名/172席（搭乗率：93.6%）がベトナムを旅行された。  
【特に人気があった場所】とっとり花回廊、砂の美術館、浦富海岸（遊覧船）、鳥取二十世紀梨記念館  
【特に喜ばれた食べ物】 蟹、和牛、刺身等の海産物、梨  
【鳥取県の印象】  
自然が豊か、景色が綺麗（紅葉が素晴らしい）、食べ物が何でも美味しい、写真を撮りたくなるスポットが多い、人（おもてなし）が素晴らしい。（ベトナムツアーではいつもこの声あり。）  
※鳥取県のことはこれまで知らなかったが、こんなに素晴らしいところだとは思わなかった、是非また来たいという声が多く聞かれた。
- 今後、ベトナムのみならず成長著しい東南アジアからの観光客誘致及びチャーター便誘致に取り組む。

## 3 台湾・台北-米子 チャーター便

- 台湾・台北と米子鬼太郎空港への連続インバウンドチャーター便が11月10日（金）、18日（土）、26日（日）に米子鬼太郎空港に運航された。  
※山口宇部空港とのプログラムチャーター便（全7往復）で、米子鬼太郎空港へは往復3便運航  
※当初鳥取砂丘コナン空港に就航予定だったが、就航直前に台湾政府民航局に不許可とされ、急遽米子鬼太郎空港に変更となった。
- 搭乗者数  
・ 11月10日（金） 米子着 156名（搭乗率94.5%） 米子発 137名（搭乗率83%）  
・ 11月18日（土） 米子着 164名（搭乗率99.3%） 米子発 146名（搭乗率88.5%）  
・ 11月26日（日） 米子着 87名（搭乗率52.7%） 米子発 163名（搭乗率98.9%）  
【特に人気があった場所】水木しげるロード、鳥取砂丘、鳥取二十世紀梨記念館  
【特に喜ばれた食べ物】 蟹、刺身等の海産物、旅館の食事  
【鳥取県の印象】  
空港での鬼太郎の着ぐるみに感激した、紅葉が素晴らしい、蟹が特に美味しかった、鳥取砂丘は写真より実際に見た方が素晴らしかった など
- 引き続き、春の桜シーズンや夏休みシーズンなど季節チャーター便の誘致を働きかける。

## <各チャーター便の概要>

### 1 韓国・務安（コリアエクスプレスエア）

(1) 時期：平成29年9月30日（土）から12月28日（木）までの3か月間

<運休便は以下のとおり>

10月12日（木）、14日（土）、24日（火）、26日（木）、28日（土）、31日（火）、  
11月2日（木）、23日（木）、25日（土） 計9往復が運航休止

(2) 運航時間：曜日 週3便火・木・土 全39往復

時間 務安空港発 11:00—鳥取空港着 12:20 鳥取空港発 13:00—務安空港着 14:20

(3) 空港：韓国・務安国際空港（韓国全羅南道・務安郡）—鳥取砂丘コナン空港

(4) 使用機材：エンブラエル145（49人乗りジェット） ※同社は本機材を2機保有

(5) 運航会社：コリアエクスプレスエア（拠点空港：襄陽（ヤンヤン）国際空港）

(6) 運行形態：インバウンド専用運航（すべて韓国からのお客様）

※2泊3日コース及び3泊4日コースを設定

### 2 ベトナム・ハノイ（ベトジェットエア）

(1) 運航日：平成29年11月8日（水）、12日（日）

(2) 空港：ハノイ・ノイバイ国際空港—米子鬼太郎空港（相互チャーター）

(3) 催行旅行社 [ベトナム側] ソンハン・トレーディングアンドツーリスト

（大手旅行会社H. I. S. のベトナム現地パートナー）来県者：137名

[日本側] 農協観光鳥取支店 訪越者：161名

(4) 運航日程（使用機材：ベトジェットエア（LCC）A320（172席））

月日	便名	発着空港及び時刻（現地時間）
11月8日（水）	VJ7826	07:35ハノイ・ノイバイ国際空港発 → 14:00米子鬼太郎空港着
	VJ7827	15:00米子鬼太郎空港発 → 18:15ハノイ・ノイバイ空港着
11月12日（日）	VJ7826	09:35ハノイ・ノイバイ空港発 → 16:00米子鬼太郎空港着
	VJ7827	17:00米子鬼太郎空港発 → 20:15ハノイ・ノイバイ空港着

<主な立ち寄り場所>

鳥取砂丘・砂の美術館、とっとり花回廊、大山、鳥取二十世紀梨記念館、梨祭り

（宿泊：羽合温泉または皆生温泉）

### 3 台湾・台北（遠東航空）

(1) 時期：平成29年11月6日から11月30日 全7往復

※米子鬼太郎空港には11/10（金）、11/18（土）、11/26（日）に運航予定

(2) 運航時間：（11/10）12:30着・13:30発 （11/18、26）11:00着・12:00発

(3) 空港：台北桃園（とうえん）国際空港—米子鬼太郎空港

(4) 使用機材：MD83（約160席）※MD=マクドネルダグラス（アメリカ製）

(5) 主催：遠東航空（英語名：ファーイースタン航空）

(6) ツアー内容：米子鬼太郎空港及び山口宇部空港と連携した連続チャーター便

・山口宇部空港（イン） → 米子鬼太郎空港（アウト）

・米子鬼太郎空港（イン） → 山口宇部空港（アウト）

※両コースとも4泊5日の日程で鳥取県へは2泊の予定（団体ツアーのみで個人客はなし）

<主な立ち寄り場所>

鳥取県 鳥取砂丘、白兔海岸、水木しげるロード（宿泊：三朝温泉または大山または皆生温泉）

島根県 出雲大社、石見银山（宿泊 玉造温泉）

山口県 秋吉台、琉璃光寺（宿泊 萩）

## 台中市との観光交流協定締結結果について

平成29年12月1日  
交流推進課

観光交流局長、日台親善協会会長及び鳥取県サイクリングチームが下記のとおり台湾台中市を訪問し、台中市観光旅遊局長と当県の観光交流局長による観光交流協定を締結するとともに、台中市から招へいを受け同市を起点として自転車で台湾を1周するサイクリングフェスティバルに参加しましたので、その概要を報告します。

### 記

#### 1 訪問団

- ・鳥取県観光交流局 門脇誠司観光交流局長、遠藤交流推進課長、鈴木誘客室長等
- ・鳥取県日台親善協会 藤縄喜和日台親善協会会長
- ・サイクリングチーム 宮崎正彦株式会社鳥取銀行代表取締役会長ほか

#### 2 観光交流協定

林台中市長及び藤縄鳥取県日台親善協会会長の立会いのもと、門脇観光交流局長と陳台中市観光旅遊局長が観光交流協定の調印を行った。

(日 時) 平成29年10月23日(月)午後17時30分～18時30分

(主な出席者)

台中市 林佳龍市長(途中退席)、林陵三副市長、陳盛山観光旅遊局長、マングリン航空、エバ航空など観光・物産関係者

鳥取県 門脇観光交流局長、藤縄日台親善協会会長、遠藤交流推進課長、鈴木誘客室長等

(会 場) 永豊棧酒店(台中市内のホテル)

(概 要)

- ・林台中市長から、梨穂木の輸出を始めとする農業分野での交流及び芸能団派遣や温泉交流など、文化観光分野における鳥取県と台中市との交流及び「OK台湾-台中サイクリングフェスティバル」への参加について感謝の言葉が述べられるとともに、両県の今後の交流の一層の発展についての期待と近い将来、鳥取県と姉妹都市提携し、今後ますます友好交流を深めていきたい旨の発言があった。
- ・藤縄鳥取県日台親善協会会長から、林台中市長の立会いの下、観光交流協定が実現したことに対する祝いの言葉が述べられると共に、農業、観光、青少年交流をはじめ、2名の台湾の国際交流員の配置など台中市とのこれまでの深い交流に対する感謝の言葉と両地域を結ぶチャーター便の実現を期待する旨の発言があった。
- ・陳台中市観光旅遊局長からは、来年開催される台中市国際花博覧会の開幕式に知事を招待し、その機会に姉妹都市協定を締結したいとの発言があった。
- ・門脇鳥取県観光交流局長からは、これまで20年間積み上げてきた台中市との交流について感謝の意を述べるとともに、観光交流協定締結を機に、観光分野でのますますの交流促進に繋げていきたい旨の挨拶があった。また、来年の台中市国際花博覧会に鳥取県が出展し、その機会に両地域を結ぶチャーター便が実現するよう尽力したい旨の発言があった。
- ・さらに調印式に集まっていた台中市内の航空会社および観光関係者に向けて、鳥取県の観光PRを行ったところ、参加者からは、カニやコナンなどへの関心が高く、訪問したいとの意向が示された。

### 3 「OK台湾－台中サイクリングフェスティバル」

台中市からの招へいを受け、同市が主催するサイクリングイベントに参加し、10月21日の出発式では、台中市林佳龍市長、陳盛山観光旅游局長等にお会いするなど、大分県等の他の地方自治体参加者とともに台中市関係者等と自転車交流を行った。

(日 時) 平成29年10月21日(土)～29日(日)の9日間

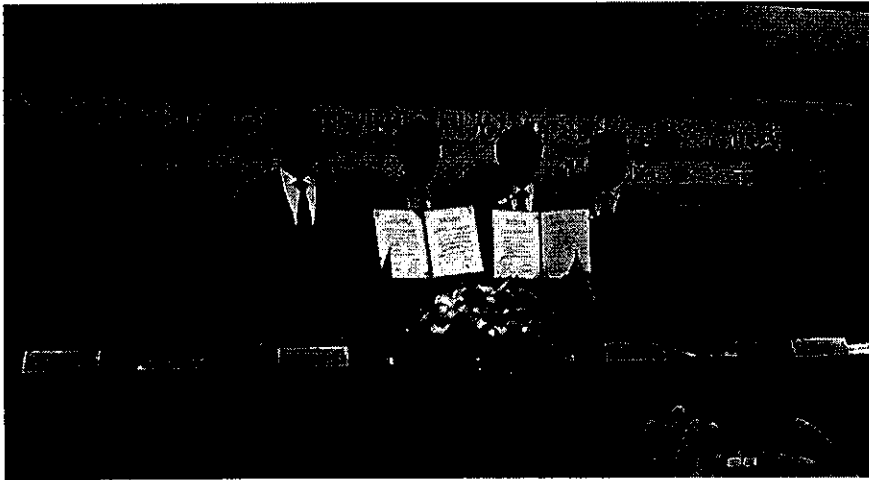
(内 容) 台中市を起点として台湾1周(約900km)を自転車で走行

(参加チーム)・日本の友好交流都市チーム(鳥取県、大分県、大分県中津市、広島県、愛媛県)

・ジャイアントチーム

・中国からのサイクリングツアー参加者等

#### 【観光交流協定調印式】





# 日本鳥取県と台湾台中市 観光友好交流提携に関する協定書

鳥取県及び台中市は、観光及び友好交流の一層の発展に向けて、相互理解と親善を深め、下記のとおり協力し合うことに合意し、ここに協定書を締結する。

## 記

1. 双方は、相手が主催する観光交流事業及びイベントへ積極的に参加し、民間の訪問交流が促進されるよう努める。
2. 双方は、相互の文化理解及び国際的人材の育成に向けて、青少年交流の推進に努める。
3. 双方は、両県市内の地域間交流及び民間交流が促進されるよう努める。
4. 双方は、観光交流に関する情報提供、送客の促進及び観光宣伝活動など観光交流の推進に努める。
5. 双方は、相互の交流を促進するために、両地域を結ぶチャーター便の実施に努める。
6. 双方は、公式観光ウェブサイトや相互の観光情報発信ツールを活用し、相互の観光宣伝に努める。

本協定書は、日本語と中国語で各2部ずつ作成し各々保管するものとし、署名の日から効力を有する。

2017年10月23日

日本国鳥取県観光交流局  
局長

門脇誠司

台湾台中市政府観光旅遊局  
局長

陳以如

## 「第6回日韓知事会議」への参加結果について

平成29年12月1日  
交流推進課

平成29年11月3日（金）に大韓民国釜山広域市で開催された「第6回日韓知事会議」に平井知事が参加しましたので、その概要について報告します。

### 1 第6回日韓知事会議の開催概要

- (1) 日時 平成29年11月3日（金）午後2時から午後5時30分まで
- (2) 開催場所 釜山ヒルトンホテル（大韓民国釜山広域市）
- (3) テーマ

「災害対策及び復旧施策」、「地域経済活性化のための地方自治体の都市再生推進施策」

### (4) 参加者

#### 〔日本側（6名）〕

京都府山田啓二知事（全国知事会会長）、栃木県福田富一知事、鳥取県平井伸治知事、岡山県伊原木隆太知事、香川県西原義一副知事、長崎県里見晋副知事

#### 〔韓国側（6名）〕

慶尚北道金寛容（キム・グァンヨン）知事（大韓民国市道知事協議会会長）、蔚山広域市金起炫（キム・ギヒョン）市長、世宗特別自治市李春熙（イ・チュンヒ）市長、釜山広域市徐秉洙（ソ・ビョンス）市長、大邱広域市権泳臻（クォン・ヨンジン）市長、慶尚南道韓徑浩（ハン・ギョンホ）知事権限代行（行政副知事）

### (5) 概要

- ・今回の会議のテーマである「災害対策及び復旧施策」、「地域経済活性化のための地方自治体の都市再生推進施策」について、日韓の知事等が取組事例等の発表を行い、意見交換を行った。
- ・平井知事は、「災害対策及び復旧施策」についてのセッションで、昨年10月の鳥取県中部地震での経験を基に鳥取県の取組や今後の課題等について紹介した。
- ・「災害対策及び復旧施策」については、韓国でも昨年地震や台風による被害が出たところであり、韓国側知事等から日本の先進的な取組に強い関心が示された。
- ・「地域経済活性化のための地方自治体の都市再生推進施策」については、両国の地方都市で共通する課題である人口減少への対応として、両国の知事等から、交流人口の拡大や魅力ある地域づくりのための施策の事例が紹介された。
- ・今回の会議は、北朝鮮の核の危機が潜む東アジアにおける日韓両国の緊密な協力が重要との認識のもと、地方政府間のより深化した協力関係を構築することを合意し、「未来志向的的地方交流協力関係構築のための第6回日韓知事会議共同発表（別添）」を取りまとめ、閉会した。

### (6) その他

- ・会議に先立ち行われた昼食懇談会の際に、平井知事から徐秉洙釜山広域市長に境港と釜山を結ぶ定期コンテナ航路のことなどを紹介したところ、徐市長から、釜山港、ウラジオストク港等で組織化の検討を進めている港湾関係の協議会に日本の港が入っていないとの話があったため、クルーズ船等による港湾の相互振興の観点などから、平井知事から鳥取県港湾の同協議会への入会を検討したい旨を徐市長に伝えた。

## 2 李洛淵（イ・ナギョン）国務総理との面談

### (1) 開催日時

11月2日（木）午前12時～午後1時45分

### (2) 開催場所

大韓民国国務総理官邸（大韓民国ソウル特別市）

### (3) 参加者

（日本側）京都府山田啓二知事（全国知事会会長）、鳥取県平井伸治知事、香川県浜田恵造知事、長崎県里見晋副知事、全国知事会古尾谷光男事務総長

（韓国側）李洛淵（イ・ナギョン）国務総理、裴在禎（ペ・ジェジョン）秘書室長、慶尚北道金寛容（キム・グァンヨン）知事（大韓民国市道知事協議会会長）

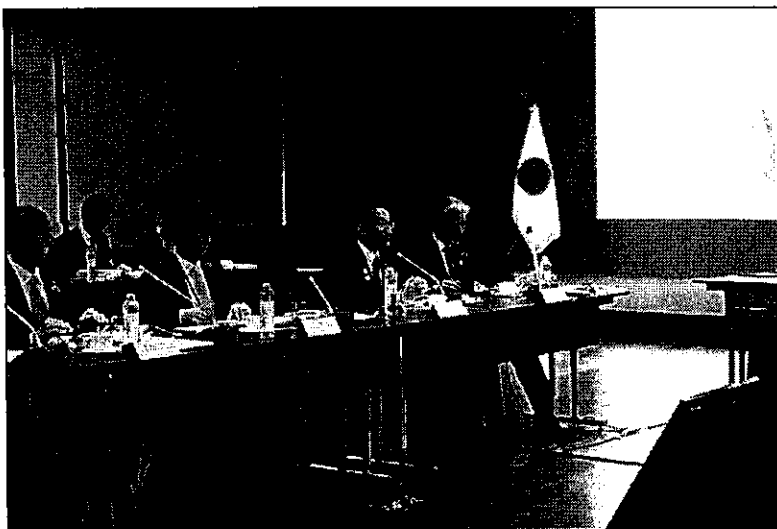
### (4) 概要

- ・李洛淵国務総理から、地方の交流も含め日韓交流を一層推し進めていきたいとの話があった。
- ・平井知事から、李洛淵国務総理に対して、5便化となったエアソウル便、務安と鳥取とを結ぶ季節チャーターを活用した日韓交流の後押しを要請した。

### 【第6回日韓知事会議参加者】



### 【会議で発表する平井知事】



## 未来志向的地方交流協力関係構築のための 第6回 日韓知事会議 共同発表

2017年大韓民国、釜山広域市において第6回日韓知事会議が開催された。  
日本側6名、韓国側6名、計12名の両国の知事・市長等が参加し、日韓地方行政の発展を  
図るための意見交換を行った。

日本と韓国は、長年の交流の歴史を辿りながら協力を積み重ねて来た両国で、北の海の航路  
が活気づいたことにおいて両国両国の緊密な協力がより一層重要な意味を持つ。

特に日韓両国地方政府間の交流は市民参加を基に行政、経済、文化など多様な分野での経済  
的価値を生み出し、両国民間の信頼の根幹をなすだけでなく、国家間の協力関係を強化する契機  
になっている。

「第6回日韓知事会議」では「災害対策及び復興政策」、「地域経済活性化のための自治  
体の都市圏生への取組む」といったテーマの下、多岐な事例発表と対話による活発な討論がなされた。  
この過程で両国地方政府が行政現場で抱えている課題に対する共同の関心を、これに対する解決策  
の模索を通じて未来志向的交流のモメンタムを形成する重要な場となった。

又、両国の懸案問題である少子化、高齢化、地方消滅、都市集中現象などの解決に両国の  
努力を傾けることとし、実質的な協力の枠組みを準備することにも最善を尽くすこととした。

両国地方政府は「第6回日韓知事会議」で両国関係の未来志向的協力パートナーシップ関係発展  
のために行政全般にわたって、より緊密な協力関係を構築することで合意した。また、2019年の第7  
回日韓知事会議を日本で開催し、両国地方政府間交流と協力をより一層促進することとした。

2017年10月13日

日本全国知事会 会長

山田啓

大韓民国市道知事協議会 会長

金景容

山田啓 金景容

## 鳥取県・吉林省友好県省提携締結について

平成29年12月1日  
交流推進課

日中国交正常化45周年となる本年、1994年より覚書により友好交流を続けてきた中華人民共和国吉林省と、更なる交流発展の契機とするため、下記のとおり11月26日(日)吉林省長春市において、鳥取県平井知事と中国吉林省劉国中省長との間で「日本国鳥取県と中華人民共和国吉林省との友好県省提携締結に関する協定書」に調印しましたので報告します。

なお、中国との友好県省提携締結は、河北省(1986年調印)に次いでとなります。

### 記

#### 1 友好県省協定の締結

巴音朝魯吉林省共産党委員会書記、福間裕隆鳥取県日中友好協会会長及び石塚英樹在瀋陽日本国総領事等の立会いのもと、平井伸治鳥取県知事と劉国中省長が友好県省提携締結に関する協定書の調印を行った。調印に先立って、平井知事と巴音朝魯書記との会見が行われた。

##### (1) 知事・書記・省長会見

ア 日 時 平成29年11月26日(日)午後5時00分～5時30分  
イ 主な出席者 鳥取県：平井知事、鳥取県日中友好協会福間会長、門脇観光交流局長ほか  
吉林省：巴音朝魯共産党委員会書記、劉国中省長、王志偉外事弁公室主任  
ほか

その他：石塚在瀋陽日本国総領事ほか

ウ 会 場 シヤングリラホテル長春(吉林省長春市内)

##### エ 概 要

- 平井知事は、書記、省長をはじめとした吉林省の方々による鳥取県との23年に亘る温かい交流に感謝を述べるとともに、古井喜実先生、遠山正瑛先生を例に挙げ、鳥取県には日中交流のDNAがあり、今日の調印により新しい鳥取県と吉林省の時代を築く契機とし、これから多くの分野での実りある交流を進め、日中友好に繋げていきたいと述べた。
- 巴音朝魯書記は、2013、14年の省長時代に友好を深めた平井知事との再会を喜ぶとともに、今回の締結によって鳥取県と吉林省だけでなく、国同士の友好、経済にもいい影響を及ぼせるような、実務的な交流を進めていきたいと述べた。
- 劉国中省長は、4月の地方政府サミットでの鳥取県訪問、8月に長春市で開催した日中韓地方政府協力会議、北東アジア博覧会、11月の岡村統轄監の長春訪問などを通じて、鳥取県と吉林省との交流の深まりを確信し、今回の締結をもって交流が新たな段階に入り、日中平和友好条約締結40周年の来年を迎え、鳥取県と吉林省の友好交流をさらに実りあるものにしたいと述べた。

##### (2) 調印式

ア 日 時 同日 午後5時35分～5時50分  
イ 調 印 者 鳥取県：平井知事  
吉林省：劉国中省長  
ウ 立 会 者 巴音朝魯書記、福間会長、石塚総領事など  
エ 協定の内容 双方が互惠の原則に基づき、経済、貿易、科学技術、文化、教育、スポーツ、環境、人材等の分野において多面的な交流と協力を行い、共同繁栄発展を促進すること

##### (3) 知事・省長会談

ア 日 時 平成29年11月27日(月) 午前6時40分～7時10分  
イ 会 談 者 鳥取県：平井伸治知事、門脇誠司観光交流局長、山本通商物流課長  
吉林省：劉国中省長、金喜双副秘書長、王志偉外事弁公室主任

##### ウ 概 要

- 平井伸治知事は、調印への協力や温かい歓迎への感謝とともに、姉妹提携協定締結を機に、

これからますます鳥取県と吉林省との様々な分野で実りある交流を進めていきたいと述べた。

○劉国中省長は、平井知事の限られた滞在の中で、友好・友情を深めることができたことと述べ、新しい時代に向けてプロジェクト等を着実に実行していくためにも、来年1月に吉林省団を鳥取県へ派遣し、鳥取県と吉林省との交流計画の打ち合わせを行いたいと申し出があった。

○こうした双方の提案に基づき、来年夏ごろ鳥取県で開催予定の GTI 地方協力委員会において、DBS 航路の中国側への延伸検討をはじめとした活用について鳥取県と吉林省とが共同で提案していくことなど、人的交流、経済交流、物流に関して具体的に双方間で協議を進めていくこととなった。

(参考) これまでの吉林省との交流

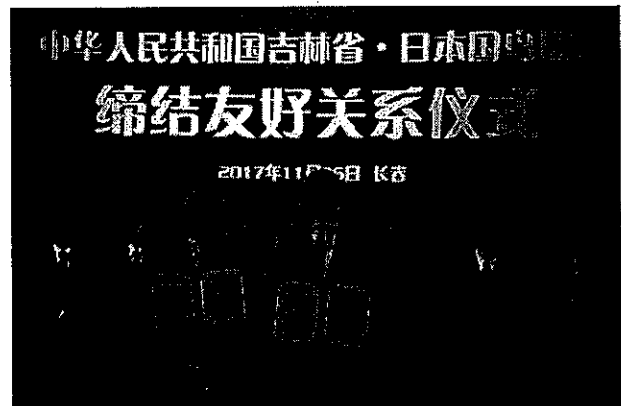
吉林省とはこれまで北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットでの連携や、経済、文化、青少年分野などの交流を行っているところ。

- ・ 1994年9月、長春市にて、鳥取県と吉林省とで友好交流推進に向け協力することについて覚書を締結。
- ・ 2004年4月、鳥取市にて、覚書締結から10周年を記念し、友好交流に関する覚書を締結。

2つの覚書に基づき、交流事業を実施(2017年度:職員相互派遣、青少年交流事業(大学生)、北東アジア博覧会(長春市)への出展、北東アジア国際書画写真展への出展等)



会談をする平井知事(左)と巴音朝魯書記(右)



友好協定の調印をした平井知事(左)と劉省長(右)



知事・省長会談(平井知事(左)と劉国中省長(右))

# 日本国鳥取県と中華人民共和国吉林省との 友好県省提携締結に関する協定書

日本国鳥取県と中華人民共和国吉林省が「日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明」、「日本国と中華人民共和国との間の平和友好条約」、「日中共同宣言」、「「戦略的互惠関係」の包括的推進に関する日中共同声明」の原則に基づき、日中両国国民の相互理解と友好関係を深め、両地域の友好協力を深く発展させるため、友好的な協議を経て次の事項について同意し、友好県省提携の締結をする。

1 双方が互惠の原則に基づき、経済、貿易、科学技術、文化、教育、スポーツ、環境、人材等の分野において多面的な交流と協力を行い、共同繁栄発展を促進すること。


2 相互交流と協力事項及び関心事について協議するため、両地域の責任者及び関係部署の連絡を密にすること。

3 本協定書は署名する期日から発効することになり、本協定書は5年間有効となるが、有効期限が満了する際、どちらか一方が終了する意思を表示しない限り、本協定は引き続き有効となること。

4 本協定書は2017年11月26日に長春市にて締結し、双方は各一部を所持すること。

本協定書は、日本語と中国語で作成し、両方とも同等の効力を有する。

● 日本国鳥取県  
知事

 中華人民共和国吉林省  
省長

平井伸治

刘国中

## 米国バーモント州及びジャマイカ・ウェストモアランド県との青少年交流について

平成29年12月1日  
交 流 推 進 課

2008年に「国際親善に関する覚書」を締結している米国バーモント州及び2016年に「姉妹提携に関する協力覚書」を締結しているジャマイカ・ウェストモアランド県と、青少年交流事業を実施しましたので、その概要を報告します。

### 1 バーモント州青少年文化公演団「Young Tradition Vermont」の受入

(1) 期間 11月15日～20日(6日間)

(2) 来県者(6名)

マーク・サスティック代表、バイオリン奏者・ピアノ奏者5名(高校生)

【Young Tradition Vermontについて】

概ね30歳以下の若者で構成される音楽グループ。バーモント州内を中心に2009年から活動しており、伝統的な音楽やダンスを次の時代に伝えていくことが主な使命としている。英国、カナダ、アイルランドなど海外公演も多数。

(3) 概要

・公演団は11月19日(日)に倉吉未来中心で開催される鳥取県総合芸術文化祭(とりアート中部地区事業)に出演し、地元ミュージシャンとのセッションを実施した。また、県内の高校を訪問し、高校生と音楽を通じ「言葉の壁」を超えた心の交流を深めた。

(4) 来県者の感想

・素晴らしい経験ができた。いつかまた(鳥取に)帰ってきたい。また、同じ年代の人々と(学校交流を通じ)出会えて楽しかった。  
・鳥取は私が行った場所のうち最も素晴らしい場所の一つであり、私が鳥取で感じた人々の愛、目にした文化、楽しい経験は、私が期待した以上のものだった。

(5) 日程

日付	活動内容
11/15(水)	鳥取着
11/16(木)	県庁での演奏披露(1階ロビー)、倉吉東高校訪問・音楽演奏を通じ交流
11/17(金)	境港総合技術高校訪問・琴の演奏体験を通じ交流、県内視察(大山など)
11/18(土)	県内視察(東郷池など)、とりアート観覧
11/19(日)	平井知事と面談(倉吉未来中心)、とりアート中部事業出演
11/20(月)	離県

### 2 鳥取県・バーモント州青少年交流事業(派遣)

(1) 実施主体 公益財団法人鳥取県国際交流財団

(2) 派遣期間 平成29年10月27日(金)～11月7日(火)

(3) 派遣人数 高校生15名ほか県内高校教諭等引率者

(4) 現地受入れ団体 グリーン・アクロス・ザ・ワールド(代表:ピーターリンチ氏)

(5) 派遣先での活動

・バーモント州政府を訪問し、フィル・スコット知事に面談したほか、州議会のあり方や行政の取組等を学んだ。  
・地域の博物館や、地元の高校、大学を訪問し、文化体験や高校生等との交流を行ったほか、ホームステイを行い、家庭生活を体験した。

(6) 派遣生徒の感想

・何も得ずに帰った人はいないくらい、とても中身の濃い、充実した毎日でした。今回の経験は私の宝物になりました。  
・日本の良さを再発見できたし、バーモントの人々がとても優しく、自分自身を見直すきっかけとなった。



## (7) 日程

日付	行程
10/27 (金)	出発、ニューヨーク到着
10/28 (土) ～11/5 (日)	ニューヨーク市内視察、ニューヨーク鳥取県人会との意見交換、オリエンテーション、州政府訪問 (Scott 州知事表敬、議会議事堂ツアー)、バーモント大学視察、ハナフォード専門学校、ミドルベリ-廃棄物処理場、シェルバーン博物館、高校体験、アウトドア活動体験、研修成果発表 [期間中：ホームステイ]
11/6 (月)	パーリントン空港出発
11/7 (火)	帰国

### 3 ジャマイカ・ウェストモアランド県への高校生派遣

(1) 派遣期間 平成29年10月8日(日)～19日(木)

(2) 派遣者 高校生10名ほか高校教諭等引率者

#### (3) 活動概要

- ・マーニング高校及びグランジヒル高校を訪問し、両校生徒との交流を通じて、英語力の向上に務めるとともに、ウェストモアランド県との相互理解と友好親善の促進を図った。
- ・グラウンジヒル高校及びウェストモアランド県庁舎前で書道パフォーマンスを行い、日本文化を発信すると共に、現地の高校生及び地域住民との交流を深めた。
- ・地元の小・中・高校生に英語で鳥取県のプレゼンテーションを実施し、鳥取県の魅力や高校生の日常生活の紹介を行った。
- ・ホームステイを通じてジャマイカの文化や生活習慣・価値観などを体験し、国際感覚を養った。

#### (4) 生徒の感想

- ・この交流事業で得た物は積極性。同時に、次に何があるから今何をするのか、ということを意識して行動しないといけない事を学んだ。
- ・ジャマイカの人には多方面において環境が不十分でも積極的に挑戦をされていました。私もあのような姿勢を見習い、将来は人の役に立てる農業を目指したいと思いました。

#### (5) 日程

日付	活動内容
10/8 (日)	出発
10/9 (月) ～10/16 (月)	ジャマイカ到着、歓迎会 (ウ県副知事主催)、グランジヒル高校訪問、授業体験、マーニング高校訪問、授業体験、農場見学、図書館訪問 (鳥取県生徒による鳥取県プレゼンテーション)、RADA 訪問、書道パフォーマンス披露、スパイス工場視察、養蜂場視察、農園視察 (車窓)、職業体験セミナー参加、教会訪問、ジャマイカ人生徒との交流など [期間中：ホームステイ、ホテル泊]
10/17 (火) ～10/19 (木)	帰国

## 国際交流センターの管理運営の見直しについて

平成29年12月1日  
空 港 港 湾 課  
交 流 推 進 課

11月21日（火）に開催された平成29年度第3回県有施設・資産有効活用戦略会議の議論を踏まえ、国際交流センターの管理運営について、以下のとおり見直すこととしたので報告します。

### 1 施設名

国際交流センター（所在地：鳥取市湖山町西4丁目110-5 鳥取空港国際会館内）

### 2 見直しの方針

施設の廃止

### 3 見直しの時期

平成30年4月

### 4 見直しを行う理由

現運営委託者（国際交流財団）の経験・実績を踏まえ、財団営の施設としても十分な機能の発揮が可能と判断されることから、鳥取砂丘コナン空港の「空の駅」の推進に伴い平成30年4月に県民ふれあい会館へ移転することとなったことを契機に、財団の運営施設として見直し、公の施設としては廃止します。

なお、（公財）鳥取県国際交流財団は移転することとなりますが、移転先で国際交流推進等の業務を継続して行います。

### 5 今後のスケジュール（予定）

平成30年2月 平成30年2月議会に設置管理条例の改正を上程

平成30年4月 財団営による運営開始

### 【備考】県有施設・資産有効活用戦略会議の概要

#### ○会議の趣旨

県有施設・資産を活用した官民連携（PPP/PFI）の積極的な活用や、県有施設・資産の適正管理、戦略的活用の方策などを検討する。

#### ○構成員

副知事（座長）、各部局長、各総合事務所長、教育長、病院事業管理者、警察本部長

#### ○検討の経過

平成28年11月

平成28年第3回県有施設・資産有効活用戦略会議において、総務部から運営方法の見直しが提案された。

平成28年11月～平成29年8月

各部局において民間活力の導入方法について検討された。

# 「ふるさと鳥取で谷口ジローさんを偲ぶ会」の開催結果について

平成29年12月1日  
まんが王国官房

今年2月に亡くなられた鳥取県出身の世界的な漫画家 谷口ジロー氏を偲び、作品の魅力を振り返るとともに、氏の遺業を郷土の誇りとして顕彰するため、「偲ぶ会」を開催しました。

また、当日は会場内に献花台を設け、多くの方に献花をしていただきました。

なお、「偲ぶ会」に引き続き、会費制による参加者交流会を行い、谷口さんを偲ぶ思いを共有しました。

## 1 「偲ぶ会」の概要

- (1) 日 時 11月18日(土) 15:30~17:30
- (2) 場 所 鳥取県立博物館 講堂(鳥取市東町)
- (3) 来場者数 約200名
- (4) 内 容
  - ア 開会の辞
  - イ 黙祷
  - ウ 追悼のあいさつ(鳥取県知事、鳥取市長、倉吉市長)
  - エ 特別映像上映(フランスで制作されたインタビュー映像)
  - オ トークセッション  
コーディネーター：原正人さん(翻訳家)  
パネラー：寺田克也さん(マンガ家・イラストレーター)  
佐藤敏章さん(『父の暦』『遙かな町へ』担当編集者)  
島崎英司さん(フランス著作権事務所)
- (5) 主 催 ふるさと鳥取で谷口ジローさんを偲ぶ会実行委員会(尾崎英篤委員長)、鳥取県

## 2 知事等による献花

- (1) 日 時 11月18日(土) 15:15~15:20
- (2) 会 場 カフェ・ダール ミュゼ前フリースペース(鳥取県立博物館1階)
- (3) 献花者 平井伸治 鳥取県知事  
深澤義彦 鳥取市長  
石田耕太郎 倉吉市長  
佐藤敏章さん(『父の暦』『遙かな町へ』担当編集者)  
寺田克也さん(マンガ家・イラストレーター)  
原正人さん(翻訳家)  
島崎英司さん(フランス著作権事務所)

## 3 一般の方による献花

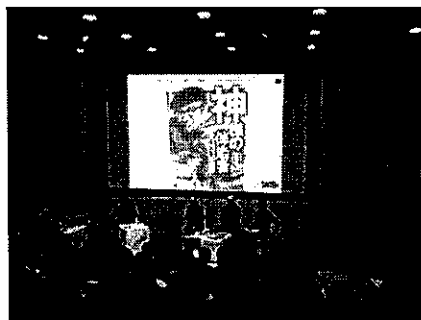
- (1) 日 時 11月18日(土) 13:00~18:00
- (2) 場 所 カフェ・ダール ミュゼ前フリースペース(鳥取県立博物館1階)
- (3) 献花者数 約150名

## 4 参加者交流会(会費制)

- (1) 日 時 11月18日(土) 18:00~19:30
- (2) 場 所 カフェ・ダールミュゼ(鳥取県立博物館1階)
- (3) 参加者数 55名



献花の様子



トークセッション



交流会

## 伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント等について

平成 29 年 12 月 1 日  
西部総合事務所地域振興局

伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベントの開催状況を報告します。

### 1 霊峰大山 ～ 大山の根源を探る旅

修験の山・霊山として名高い大山の歴史、刀剣、パワースポットなどをテーマとし、「ふしぎな世界」のスペシャリスト 3 名を招き、特別ツアーとトークイベントを開催。

#### (1) 特別限定ツアー「東雅夫、加門七海、伊藤三巳華と巡る霊峰大山」

ア 日時：12 月 9 日（土）10:00～17:00

イ 場所：伯耆町大原神社・安綱の碑、大神山神社（本社・奥宮）、大山寺

ウ ゲスト：

○東雅夫（ひがし まさお）氏

・文芸評論家、アンソロジスト。

・元「幻想文学」編集長で、現在は怪談専門誌「幽」編集顧問。

・「遠野物語と怪談の時代」（角川選書）で日本推理作家協会賞を受賞。著書・編纂書多数。

・NHK Eテレ「美の壺」「小泉八雲 怪談」にも解説で出演。

○加門七海（かもんななみ）氏

・小説家。オカルト、風水、民俗学などに造詣が深く、怪談、フィールドワーク作品などを著す。

・著書は、「お呪い（まじない）日和 その解説と実際」、「祝山」、「たてもの怪談」など。

○伊藤三巳華（いとうみみか）氏

・漫画家。著作は、「濡れそばつ黒髪」、「怪眼」、「見えるんです。」など

エ 備考 参加費 2,000 円、先着 40 名

#### (2) トークイベント「霊山のふしぎを求めて」

ア 日時：12 月 10 日（日）13:00～16:00

イ 場所：角盤町 4 丁目スタジオ（TSUTAYA 角盤町店 3 階）

ウ 出演：東雅夫（司会）、加門七海、伊藤三巳華

《話題》 ※想定

日本七霊山、刀剣（安綱）、妖怪（日本八天狗の一人、大山伯耆坊など）、出雲風土記、パワースポット（大神山神社、大山寺、金持神社、三仏寺、倭文神社など）

エ 備考 入場無料、先着 100 名

### 2 プレ・イヤーイベントの開催結果（10 月中旬～11 月中旬に実施したもの）

#### (1) 実行委員会主催事業

ア 「星取県」大山フェスティバル in むきばんだ史跡公園

日時：11 月 3 日（金・祝）16:00～20:00

場所：むきばんだ史跡公園（西伯郡大山町妻木 1115-4）

内容：移動式プラネタリウムによる番組上映と星空観察を実施。

プラネタリウム番組上映はほぼ毎回定員を超える状況で、屋外でも多くの方が次から次へ来場して天体観測を楽しむなど、来年度の「星取県」大山フェスティバルの実施の PR、誘客につながるイベントとなった。



イ ソフトバンク本社社員食堂における鳥取県・大山フェア

期間：(PR、物販) 10月23日(月)及び24日(火)

(料理提供) 10月23日(月)、27日(金)、31日(火)～11月2日(木)

場所：ソフトバンク社員食堂(東京都港区東新橋1-9-1)

内容：1日に約3000食を提供する巨大食堂で、大山開山1300年祭PR、ウェルカニキャンペーン、鳥取県物産の販売などを実施。

・県産食材を使った料理メニューを食堂で販売したところ、いずれも早々に売り切れ。

(例) 10/23「大山どりのチキンカツ」172食完売

10/27「ハーブ鶏のステーキ」170食完売

・大山や大山ブランド製品に興味を持ち物産を買い求める客、「南アルプス」ではなく「奥大山」と表記されたサントリー天然水を見て大山のことを聞く客等多数で、SNS等で情報を発信する層に向けて効果的にPRを実施。



ウ 奥大山魅力発信モニターツアー

日時：11月4日(土) 9:50～15:30

場所：奥大山エリア

内容：サントリー奥大山の天然水のCM効果で注目が集まる奥大山の魅力をパッケージ化し、モニターツアーを催行。

・御机の茅葺小屋、木谷沢渓流などの観光スポット巡り、地元食材の食事、サントリー天然水奥大山ブナの森工場見学、下蚊屋荒神神楽鑑賞と、奥大山の魅力を丸ごと堪能する内容。参加者43名。大手旅行会社の商品造成担当部長等も視察。

・天候が悪く、トレッキングを中止するなど一部変更も生じたが、ツアーは概ね高評価であり、翌年以降のツアー造成に向け、手ごたえを得た。



エ とっとりスタイルエコツーリズム講演会

日時：10月22日(日) 14:00～15:30

場所：米子コンベンションセンター 小ホール

講師：田崎真也氏(日本ソムリエ協会会長)

内容：大山のブナの森に育まれた水の良さ、その水を活かした料理、1300年祭で観光客をもてなすに当たっての心がけ、留意点などを、世界的ソムリエ、おもてなしのプロとして独自の視点で論じていただく。「水が最も重要な調味料」「大山山麓は食の宝石箱のようなエリア」といった指摘も。参加105名。



オ 伯耆国「大山開山1300年祭」記念料理「秋・冬料理」発表会

日時：11月9日(木)

場所：スマイルホテル米子(米子市西福原1-1-55)

内容：「名物料理を作る会」へ委託し、1300年祭で大山圏域を訪れる方をおもてなしするための料理を創作。今回、ジビエ、カニ、サワラ、鳥取和牛など旬の食材を使い、大山をイメージした盛り付け、ネーミングを施した「秋・冬料理」を発表。

[今回新たに創作・発表されたメニュー]

・鳥取和牛ステーキあごだし茶漬け(皆生グランドホテル天水)

・弓ヶ浜葱すり流し(皆生つるや)

・大山の恵み入り境港かにトロロラーメン(まぐろラーメン本舗)

・ふるさと宝箱弁当(仕出し料理 味屋) ほか7メニュー

(2) 市町村等との協働・連携事業

ア 東大山古道トレッキング（倉吉市、琴浦町）

※3 コースの設定

コース	①歴史を巡るロングトレイル	②森林浴スポット 大山滝	③開湯 1300 年関金温泉と旧 国鉄倉吉線廃線跡トレイル
日時	10月21日(土)～22日(日)	10月21日(土)	10月22日(日)
場所	川床、大山滝、関金温泉、旧国 鉄倉吉線廃線跡、大山池、明倫 円形校舎、白壁土蔵群	大山滝	関金温泉、大山池
参加者数	16名	27名	57名

内容：歴史の道 100 選「大山道（川床道）」、人気の廃線トレイルなどをコース設定。歴史を巡るロングトレイルコースでは、歴史、名滝、名湯を結ぶ東大山古道、総延長 48km の本格的ロングトレイルを実施。大山と関金を結ぶ観光商品の創出により、大山の入込客を関金に呼び込んでいく。



イ 奥日野たたら製鉄モニターツアー（日野町）

日時：10月21日(土)～22日(日)、11月25日(土)～26日(日)

場所：日野町（都合山たたら遺跡）

内容：・CGでたたら操業時の様子などを再現するARアプリを活用した都合山たたら遺跡トレッキング、ミニたたら操業体験、田舎暮らし体験などをセットにしたモニターツアーを実施。

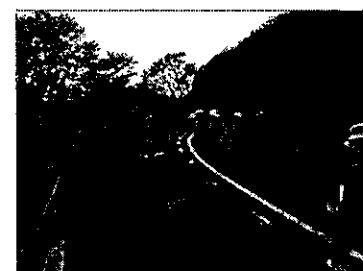
・10月21～22日のツアーでは、広島から14名が参加。

ウ 大山紅葉満喫ウォーク（大山環状道路自動車利用適正化社会実験協議会）

日時：10月28日(土)

場所：①江府町（奥大山スキー場、鍵掛峠 約4.2キロ）  
②大山町・伯耆町（博労座第5駐車場、横手道、榊水高原 約6キロ）

内容：錦秋の大山環状道路を自動車を気にすることなくゆっくりと散策し、紅葉などを満喫。参加394名。当日は台風の影響であいにくの雨模様となったが、「通行規制によってウォーキングが普段より楽しめた」など肯定的な意見が9割近くを占めた。また、参加者にイベントで使えるクーポン券を配布したところ、奥大山コースでは、参加者の9割以上が同日開催の江府町イベントに利用するなど、地元経済にも効果をあげた。



エ 奥大山古道ウォーク（江府町）

日時：11月11日(土)

場所：江府町（鍵掛峠～御机集落～下蚊屋集落）

内容：日本の原風景「御机の茅葺小屋」、後醍醐天皇ゆかりの味覚「団子汁」、県指定無形民俗文化財「下蚊屋の荒神神楽」を堪能しながら、約6キロの大山古道をトレッキングを満喫。参加93名。



オ 三徳山トレイルウォーク (三朝町)

日時：11月12日(日)

場所：三朝町(ふるさと健康むら～三朝温泉～三徳山)

内容：大山と三徳山・三朝温泉、2つの日本遺産の歴史・文化などのつながりを探訪しつつ、秋の三徳山の自然や景観を楽しみながら散策。じっくりと解説を聞きながら、地域の特産品(甘酒、りんご)などの振る舞いも受けながら、ウォーキングを楽しんだ。参加18名。



### 3 その他のトピックス

○日本遺産PR動画の全映協グランプリ2017優秀賞受賞

- ・大山開山1300年祭を機に作成した日本遺産PR動画(大山開山1300年祭公式HP等で視聴可)が、中四国映像製作社連盟が主催する中四映連映像グランプリ2017の番組部門(短編の部)で最優秀賞を受賞。
- ・その後、中四国ブロックの代表作品として全国地域映像団体協議会が主催する全映協グランプリ2017(11/16(木))に出品され、審査の結果、番組部門で優秀賞を受賞。



※全国9地域から出品された「番組部門」15作品(各地区最優秀賞作品等)から最優秀賞が1作品、優秀賞が5作品選出

